

京都大学医学部附属病院

総合周産期母子医療センター

中病棟2階/MFICU



病棟業務

妊婦さんへの看護

～妊娠初期から分娩前までの全時期の妊婦さんへ～

- ・ 妊婦健診
- ・ 赤ちゃんの状態のチェック
- ・ 切迫早産やそのほか合併症妊婦の入院管理
- ・ 妊婦さんの心のケア
- ・ 妊娠期の指導（母親教室 お産教室 授乳教室）



病棟業務

褥婦さんと赤ちゃんへの看護

- ・ おっぱいケアやマッサージ
- ・ 育児指導や沐浴指導
- ・ 退院後の生活指導
- ・ 育児相談
- ・ 褥婦さんの心のケア
- ・ 退院後への切れ目のない子育て支援



分娩

～安心・安全なお産のために～

分娩件数 329例

経膣分娩：160例

帝王切開：179例

2022年 統計より

大学病院ならではの
高度な設備と豊富なマンパワー
専門診療科やNICUとの綿密な連携で、
充実したケアの提供を
目指しています。



施設紹介 ～分娩室～

ここは新しい命を
迎えるところです



～新生児室～



赤ちゃんの診察や
処置をします。



～ナースステーション～

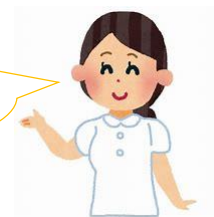


患者さんについての
カンファレンス等を
します。



～MFICU（母体胎児集中治療室）～

ハイリスクの妊婦さんが入院しています。
緊急時はいつでもすぐに
対応できる体制を整えています。



～談話室・授乳室～

談話室

こちらで家族と面会ができます。
奥にある沐浴槽で沐浴指導を行います。



授乳室

退院された方にも
継続して授乳や育児の
相談にのっています。



院内助産（助産師外来）

「産む力」と「生まれる力」を
最大限に活かしたケアを行います。

おひとり45分枠で妊婦健診と保健指導を
ゆっくり受けていただけます。



※スタッフが患者役を行っています

異常が起こった場合は
24時間体制で医師が対応します。

～院内助産の流れ～

分娩予約（妊娠16週～）の際に、
助産師外来のご希望を伺います。



妊娠24週以降
医師外来と助産師外来を交互で受診します。
（助産師外来計3回以上）




院内助産を希望され、妊娠経過に異常がなく医師
の許可が得られた場合、分娩進行中はずっと助産
師が寄り添い、分娩介助は助産師のみで行います。
（必要時以外は医師は立ち会いません）

若手職員紹介

- 京野 都 さん
- 入職2年目、中病棟2階（産科）
- 主な仕事内容



産婦人科外来と産科病棟の看護、助産をおこなっています。女性が赤ちゃんが欲しいと思った時から、妊娠分娩を経て、産後の育児までの期間、不安や悩みが少しでも少なくなるようにケアをしています。

貴志さんのある1日（日勤）	仕事をするうえで大切にしていること	メッセージ
08:30 ● 出勤 情報収集・申し送り	限られた時間の中で患者とのかかわりをできるだけ大切にしています。	最初は、まず業務内容を覚えることから始まり、夜勤も開始となり、覚えることが多すぎて大変と思います。しかし、患者さんからありがとうございますと言われたり、お母さんと赤ちゃんの授乳姿をみたら、頑張ろうと思えます。
09:00 ● 産婦さんのCTGモニター装着など	一見当たり前のように思えますが、廊下で会ったら笑顔で挨拶をする、バイタルサイン測定の際にはただ業務としてではなく、日々過ごす中で体調を気遣う声かけや、思いの傾聴やいたわりの声掛けをするといったことを常に心がけています。	とてもやりがいのある仕事です。一緒に頑張りましょう。
10:00 ● ママベビー相談室外来で退院後のお母さんと赤ちゃんのフォロー	どんな多忙な環境の中でも、これらのことを心にもいつも留めつつ、患者に寄り添っていきたいと思っています。	
15:00 ● 分娩のベビーキャッチ		
17:15 ● 退勤		
18:00 ● お買い物をしつつ帰宅		
22:00 ● 家で映画鑑賞しながら食事		
23:00 ● 入浴後、就寝		